

令和3年4月8日

保護者の皆さま

認定こども園長岡和光幼稚園なごみ保育園  
園長 若槻 司

### 今年度の取り組みについて

ご入園、ご進級おめでとうございます。

年度当初にあたり、本来であれば5月に保護者総会を開き、今年度の方針等ご報告するところですが、コロナ禍において本年度も開催を見送ることとなりました。

今後ホームページや紙面にて随時ご紹介する予定ですが、まずは概要をご報告します。保護者の皆さまにはご理解のほどよろしくお願ひします。

### 記

#### ■園舎建て替えについて

現在、長岡市の審査を終え、新潟県と協議中です。今後県から国へ協議が移り、例年6月末に国から内示が出る予定ですので、建て替えについての詳細は7月に入ってからご報告します。

なお、通常、保護者説明会を実施することとなりますが、感染対策のため紙面でのご報告となる予定ですので、予めご容赦ください。

工事期間中はご迷惑をおかけしますが、子どもたちにとって学びの機会となるよう様々な取り組みを企画しております。

#### ■子どもたちの成長について

近年、こどもたちの体力において、特にまっすぐ走る、歩くができない子が増えてきました。これは、都会の子よりも地方の子にその傾向が強く、一般的には運動量の不足（歩く機会が少ない）が原因と言われています。

園でも正課内で体育教室やサッカー教室を取り入れるなど、運動する機会を設けていますが、絶対的に量が足りないようです。帰宅後や休日に運動する機会を増やしてほしいところですが、両親の就労、核家族化が進む現代では難しい状況です。

昨年より散歩の回数を増やすなどしていますが、運動会の徒競走や普段の保育での歩く姿を見ると、やはりまっすぐ走れない、歩けない子どもが多く見られます。

裏面あり

今年度はより一層散歩や運動する機会を増やし、子どもたちの運動量を増やしていく予定です。また、ただ歩くだけでなく、年齢に応じた学びの機会となるよう工夫していきます。

以前より絵本の読み聞かせの重要性をお伝えしているところですが、近年、その重要性がさらに増しているように思えます。耳からたくさんの言葉が入ることにより語彙力をもちろん、知識や想像力、心の育ちに大きな影響を及ぼします。近年、テレビや動画では情報量が多いため効果が少ないと言われていました。

園では昨年より絵本の購入を増やし、本年も増冊しました。どうぞご家庭でもまずは月に1冊から絵本の読み聞かせをお願いします。その際、主人公の気持ちや内容についての声掛け、問いかけもしていただくと対話や思考する時間が増え、さらに効果的です。

2020年度の小学校学指導要領の改訂に合わせ、3年前から英語の講師を常駐させています。現代の子どもたちに不足する能力にコミュニケーション能力が10年以上前か指摘されています。

園ではただネイティブな英語に触れるだけでなく、言葉の壁を越えてコミュニケーションがとれるように、また興味や関心が広がることを目的として取り組んでいます。

今年度はラスカル組以上クラスにおいて、今まで以上に内容の濃い取り組みとなるよう二人の英語講師と協議しています。

#### ■質の向上について

10年前から職員研修に力を入れ、新潟県内で一番学んでいる先生を目指しています。昨年コロナ禍で対面の研修が中止となる中、リモートを活用して例年並みに取り組むことができました。私立園の唯一のデメリットは井の中の蛙となることです。それを克服するには、常に最新の知識と情報、検証が必要となります。

今年度も東京家政大学の佐藤教授よりご指導いただき、キャリアアップにつながる研修を行います。また、次年度に向け、コンセプトブックの作成に取り組みます。

小学校と比較して幼稚園は幼稚園教諭1種免許取得者の割合が少なく、文科省は1種取得を推奨しています。質の向上の取り組みの一つとして、該当する教職員の免許上進も勧めていきます。

#### ■ICT化について

保育の効率化を進め働きやすい環境を作ることで、より質の高い保育の実現を目指すため、ICT化を進めます。

以上